

「鶴岡のまちづくりを考えよう」

連続講座 第7回

住み、暮らしをいとなむ場としての中心部を考える

日時

2025年 **12**月**13**日(土) 時間 17:30～20:00

場所

鶴岡まちなかキネマ キネマ4

講師

高谷時彦 氏 建築/都市デザイン 設計計画高谷時彦事務所

花沢 淳 氏 建築家、元東北公益文科大学大学院非常勤講師

参加費

無料 下記 QR コードよりお申し込みください



講師プロフィール

1952年 香川県生まれ。東京大学都市工学科、建築家楨文彦氏の事務所を経て設計計画高谷時彦事務所。2005-2020 東北公益文科大学大学院特任教授。『見え隠れする都市』『社会を変える公益ビジネス』(共著)ほか。



講師プロフィール

1981年 千葉県生まれ。都市建築設計集団/UAPP(仙台市)で住宅、児童福祉施設、震災復興業務に従事。2023年一級建築士事務所 DEWA DESIGN LAB(東京都)代表 兼 株式会社ヤマムラ建物再生室設計アドバイザー。100年古民家のリノベーションから木造保育園の設計などの設計活動の傍ら、東北公益文科大学大学院で「地域デザイン論」の教鞭をとる。

創業173年の老舗デパート「南銀座池田」閉店はまちづくりに関わるものにとっても、残念なニュースでした。また食文化創造都市鶴岡を象徴する米倉庫群が駅前から姿を消したことも記憶に新しいことです。中心部は人が住み、暮らしを営む場所として都市活動の要であり続けてきました。まちの中心部が元気をなくすこと、あるいはいきなり大きく姿かたちを変貌させてしまうことなどは、その都市の歴史文化的アイデンティティの喪失につながる。そんな思いを胸に、私たちは連続講座内川学、旧小池薬局恵比寿屋ビル調査、鶴岡まちなかキネマづくりなどのまちづくり活動に関わってきました。人が住み、様々な暮らしの様相が展開し、それが時間の中で積層しているのがまちの魅力であり原点であるように思います。若い人たちとともに、中心部の可能性について自由闊達に語り合いたいと思います。

問い合わせ koueki2025@gmail.com 090-1377-2488 担当 阿部

主催/NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡 共催/山王まちづくり株式会社

協働/山形県 後援/鶴岡市・鶴岡社会福祉協議会・鶴岡商工会議所 助成/やまがた社会貢献基金

